

小豆郡 研究のあゆみ

- 1 研究主題 考える力を育てる学びの構築
～読む力の見極めとその指導・評価の在り方を求めて～
- 2 研究活動の概要
 - (1) 4月20日 瀧崎小学校：研究組織作り，研究主題の設定，研究計画の立案
 - (2) 5月25日 苗羽小学校：「考える力」を育成する教材研究
 - (3) 9月29日 四海小学校：研究授業 3年「民話のおもしろさを見つけて
しょうかいしよう『木かげにごろり』」
- 3 研究内容
 - ・ 「考える力」を育成する教材研究では，文学教材の構造を読み取る一つの方法である「作品の星座図」作りを行った。指導上の留意点が明確になり，児童のつまずきに応じた具体的な支援を考えることができた。指導者の先生からは，構造曲線を作ることだけを読む目的とせず，読む喜びや感動を大切に様々な方法を試みるようにとの指導をいただいた。
 - ・ 研究授業では，文学教材の読み取りを助けるワークシートの工夫や，読む力を高めるためのグループ学習・全体交流が提案された。討議では，グループ学習における話し合いの視点に必要感をもたせることや，子どものつづやきをふくらませて比較するような全体交流を行えばどうかという意見が出た。指導者の先生からは，物語のおもしろさに気づくよう言葉にこだわり，音読を効果的に取り入れた指導を心がけるようにとの指導をいただいた。

さぬき・東かがわ市 研究のあゆみ

- 1 研究主題 確かな国語力を育てる指導と評価の在り方を求めて
- 2 研究活動の概要
 - (1) 4月28日 研究主題設定，研究組織作り，研究計画立案
 - (2) 6月15日 研究授業
4年 だん落とだん落の結び付きを考えながら読もう(ヤドカリとイソギンチャク)
 - (3) 11月24日 研究授業 さぬき市立津田小学校 岡田 初美教諭
4年 いろいろな「環境を守るくふう」について調べよう(ウミガメのはまを守る)
研究授業
6年「わたしの意見」を書こう
 - (4) 1月19日 研究紀要「国語の歩み」，児童文集「はらっぱ」の編集作業
- 3 研究内容
 - ・ 6月の研究会では，習熟度別少人数指導による説明文読解の授業が行われた。また，同単元において，段落の要点や段落相互の関係を正しくとらえるための実践やライト教材を用いたスキル学習を取り入れた実践が提案された。指導者の真鍋佳樹先生から，「ヤドカリとイソギンチャク」の教材性や読解力育成のための指導の視点等についてご指導いただいた。
 - ・ 11月には，さぬき市では，筆者の質問を推測することから読みを深め，表現につなぐ授業，東かがわ市では，習熟度に合わせ，構成を考える際の学び方を身に付けさせる授業が展開された。グループでの話し合いのもち方を工夫した4年物語文教材での実践，辞典作りを通して言語への関心を深めていった6年生での実践も紹介された。

丸亀市 研究のあゆみ

1 研究主題 確かな国語力をつける授業の工夫

2 研究活動の概要

(1) 4月19日 岡田小学校 研究組織作り，研究主題の設定，研究計画立案

(2) 6月14日 研究授業・討議

郡家小学校 2年 「じゅんじょに気をつけて読もう たんぼぼ」

城坤小学校 4年 「電話で伝え合おう」

(3) 12月6日 研究授業・討議

飯山北小学校 1年 「わたしのはっけん」

城辰小学校 6年 「構成をくふうして書こう」

3 研究内容

書く力をつけるための授業の工夫（1年「わたしのはっけん」）

- ・ 児童がいつでも振り返ることのできる掲示の工夫，イメージ化できるようにビデオ視聴や動作化をする場の設定。
- ・ 机間巡視し，上手な表現にシールをはっていくなど，個に応じた支援の工夫。
読むことと書くことを関連させた授業の工夫（2年「じゅんじょに気をつけて読もう」）
- ・ 指示語「このようにして」に注目させ，仲間を増やしていくことを読み取った後，生命力のすばらしさをおうちの人に伝える作文を書くなど単元構成の工夫。

仲多度郡・善通寺市 研究のあゆみ

1 研究主題 思考力，想像力を伸ばす国語科学習指導

2 研究活動の概要

(1) 4月20日 善中央小 研究組織作り，研究主題の設定，計画立案

(2) 6月21日 長炭小 研究授業 6年 「イースター島にはなぜ森林がないのか」

(3) 7月25日 善筆岡小 2学期教材の教材研究

指導講話 長尾順二先生（前宇多津町教育長）

(4) 11月24日 善南部小 研究授業 4年 「ウミガメのはまを守る」

3 研究内容

- ・ 長炭小（6年）の授業では，文章の構成と読みとの関連を図る授業が提案された。授業後の話し合いを通じ，要約する力の育成と思考力の一つである異同関係や因果関係を読み取ることの必要性が再認識された。指導者の金崎先生からは，説明文教材における各学年の読みの基本の力と論理的思考力の育成にかかわる技能について指導をしていただいた。
- ・ 善南部小（4年）の授業では，確かな読みの力をつけるために要点をまとめる学習が展開された。指導者の森山先生からは，説明文の情報の取り出しと要約の仕方について指導をしていただいた。

三豊市・観音寺市 研究のあゆみ

1 研究主題 国語力の見極めとその指導・評価の在り方を求めて

2 研究活動の概要

- (1) 4月20日 観音寺南小学校 研究組織作り，研究主題の設定，研究計画立案
- (2) 6月16日 観音寺東小学校 研究授業
4年 電話で伝え合おう
- (3) 7月25日 夏季研修会
 - ・観音寺東小学校の研究概要と公開授業指導案の検討
 - ・講演「音読の基礎」 講師 田中 瑞恵先生
- (4) 10月22日 観音寺東小学校 研究発表会
1年 おはなしだいすき 「サラダでげんき」
5年 人間の生き方をえがいた作品を読もう 「マザー・テレサ」

3 研究内容

観音寺東小学校は、「豊かな生き方につなぐ確かな学び - かかわり合いを通して，伝え合う力を育てる国語科学習の構築 - 」をテーマに，本年3つの提案授業がなされた。

4年授業は，体験や生活とかかわりを持った学習素材を活用することにより，児童の表現意欲を喚起できることが提案された。1年授業は，主体的に伝え合うために，学習の仕方を同じパターンで繰り返したり，ペアで話したりする工夫がなされていた。5年授業は，情報を集め伝えたい事実や意見を明確にしたパネルディスカッションを実践した。いずれの授業も言葉にこだわり，言葉で人・教材・自己とかかわる生き生きとした子どもが育っていた。

高松市 研究のあゆみ

1 研究主題 真に生きて働く国語力を育てる国語科授業の創造

～自分の考え，感じたことを表すために必要な「表す力」をつける～

2 研究活動の概要

(1) 6月22日(木) <第1回研究授業・討議>

西ブロック 一宮小学校2年 ようすや気持ちをそうぞうしながら読もう
～「ニャーゴ」～

4年 段落と段落の結びつきを考えながら読もう
～「ヤドカリとイソギンチャク」～

東ブロック 栗林小学校1年
～「おおきなかぶ」～

南ブロック 多肥小学校3年 物語のあらすじを考えながら読もう
～「ゆうすげ村の小さな旅館」～

(2) 7月26日(水) <夏季研修会> 国分寺会館

研修1 第1回教科研修会報告(各ブロックより成果課題等の発表)

研修2 言語能力育成のための演習の実施

朗読・演習「宮沢賢治の世界」 講師「おはなしの部屋」 大美 千恵先生

(3) 12月14日(木) <第2回研究授業・討議>

西ブロック 香西小学校5年 討論をして生活を見つめよう
～「インスタント食品とわたしたちの生活」～

東ブロック 花園小学校2年 たのしいあそびを考えよう
～「せかいのかくれんぼ」～

南ブロック 川島小学校 1年 いろいろなじゃんけんについてはなしあおう
～「じゃんけん」～

3 研究内容

今年度から高松支部が広域になり，3ブロックに分かれての研究授業となった。研究の視点を3点に絞り，各ブロック共通理解のもと，研究主題に迫る提案授業を行った。

研究討議の視点 表す力を付けるために，どのような学習を行えばよいか。

- ・ 言葉にこだわって読むために音読や動作化，視写の活動を取り入れ，想像を膨らませることにつないだ授業。想像したことを絵本の中の吹き出しに気持ちを書きこんでいく活動により，自分の言葉で表すことができる。（西ブロック2年）
- ・ 動作化しながら教材文を読み，想像したことを「身体表現」で表す。かぶが，抜けた場面の様子を想像するために，グループごとにかぶを引っ張ることで，抜けた喜びを動作・表情・会話などで表現し，想像を深めることができる。（東ブロック1年）
- ・ 低学年では，表す力を付けるために動作化することが効果的な手段。
- ・ 教材文の読解から分かりやすい説明の仕方を学ぶ。それを使って，自分が作ったじゃんけんの勝ち負けの理由を説明するという活動を行った。事柄と事柄の関係の理解を深めることができ，理由という自分の考えを表す授業を展開する。（南ブロック1年）
- ・ 文章を比較して読み，相違点や共通点をはっきりさせることで，自分の考えを書くことにつながる授業を展開する。（東ブロック2年）
- ・ 教材文（連続型テキスト）を読む際に，実際のインスタント食品等の資料から得られる情報（非連続型テキスト）や生活経験等と比べたりつないだりしながら，読みの中で自分の考えを「表す力」の育成を図る授業を展開する。（西ブロック5年）

研究討議の視点 主体的な学習を組織するために，どのような場でどのように評価し，どのように支援をすればよいか。

- ・ 読み取りを個の興味・関心に応じた方法（言葉カード，イラスト，動作化）で行う。それぞれの読み取りをグループ発表により交流する（根拠となる表現に戻って説明すること）ことで，より正しく豊かに読み取ることができ，児童がお互いに評価することにつながる。（西ブロック4年）

研究討議の視点 主体的な学習を組織するために，単元をどのように構成・工夫すればよいか。

- ・ 場面ごとに短くまとめる活動を繰り返すことで，別の物語もまとめる力がつく。
- ・ 読みの目的意識や，伝える相手意識をはっきりさせることで意欲的に学習に取り組むことができる。（南ブロック3年）

<夏季研修会>

研修1 各ブロックで行われた研修会について，ビデオ等を用いて研究部より報告。

研修2 「おはなしの部屋」の方々による，表現豊かな朗読劇「宮沢賢治の世界」を聞かせていただいた。その後，朗読をするための発声・発音・読みの方法などの演習を行った。

坂出市 研究のあゆみ

- 1 研究主題** 自分の考えや思いを伝え合う子どもの育成
- 楽しく学び合う国語の授業 -
- 2 研究活動の概要**
 - (1) 4月19日 研究組織作り, 研究主題の設定, 研究計画立案(綾歌郡と合同)
 - (2) 6月2日 西庄小学校 研究授業・討議
4年 出来事をしょうかいするスピーチをしよう
「知らせたい, あんなことこんなこと」
11月1日 (坂・綾小研) 羽床小学校 研究授業・討議に参加

3 研究内容

- ・ 西庄小学校の研究授業では, 一番伝えたいこと(話の中心)を考えて, 話したり・聞いたりする力を身に付けることをねらって授業が展開された。話の中心にそって話を膨らませるために, 音・会話・手ごたえ・動きなどの五感を働かせた観点を示すことが有効であった。
- ・ 話を膨らますための手立てとして, ペア対話を取り入れていたが, どのペアも3分間話が途切れることなく, 友達の話を真剣に聞き, 観点にそって質問することができていた。サイコロトークなどスピーチ活動を常時行っている成果がよく表れていた。
- ・ ワークシートや評価カードも工夫していたので, 本時のねらいを意識して学習できていた。また次時は, 広がった視点を話の中心に迫るために必要なものとそうでないものに分類して, 構成メモを作成していく予定であり, 1時間ずつ明確なねらいをもって学習することの大切さを学んだ。

綾歌郡 研究のあゆみ

- 1 研究主題** 自分の考えや思いを伝え合う子どもの育成
- 楽しく学び合う 国語の授業 -
- 2 研究活動の概要**
 - (1) 4月19日 研究組織作り 研究主題設定 研究計画立案
 - (2) 11月1日 綾川町立羽床小学校 研究授業3年
「地いきのお祭りや行事をしょうかいしよう」(つな引きのお祭り)
6月2日 (坂・綾小研) 西庄小学校 研究授業・討議に参加
- 3 研究内容**
 - ・ 羽床小学校では, SA(学習アドバイザー)と連携し, 「書く力」に重点をおいた授業を実践することで, 子どもたちの学習意欲や思考力を高め, 教師の指導力アップをめざしている。SAと連携した授業を行うにあたっては, 授業のねらいや児童の実態などについて焦点化した打ち合わせが大切になってくる。本時でもSAが児童の発表に合わせて資料に線を引いたり, 個別に支援を行ったりして学習効果を高めていた。
 - ・ 本時の授業では, 児童が「宝木の祭り」のまとめを書くときに, 他の祭りとの比較を意識して書くことが大切であり, 祭りの願いを子どもたちから見つけ出させることがポイントである。ここでは, 「子どもが主役」ということに気付かせるため, 「子どもたち」という言葉の多さに注目させることも一つの支援である。
 - ・ 香川型教材では, 「あらまし」「じゅんび」「様子」「由来」の観点を比較して読み, 祭りの特徴を理解した上で, 読み取ったことを自分の調べに生かしていく展開になっている。そうすることで, PISA型読解力を育てようとしている。